

## 3月がスタートしました。

3月3日（月）

弥生（やよい）3月スタートです。弥生は「弥生（いやよい）」が変化したものとされています。「弥（いや）」は「ますます」といった意味があり、「生（おい）」は草木が芽吹くことを意味します。草木がだんだんと芽吹く頃から、「弥生」となったとされています。朝はまだまだ寒いですが、昼間の日差しは春の暖かさを感じるようになってきました。ちょうど5年前の3月から新型コロナウイルスによる臨時休業が始まりました。コロナに翻弄された1年がとても短く感じました。兵庫県下の感染症は減少傾向にありますが、まだまだ油断禁物です。春は花見、卒業式や入学式、転勤などで人の動きが多い時期です。春の陽気に浮かれることなく、引き続き感染症等の対策を意識しながらの生活を心がけましょう。 うがい 手洗い 換気 マスク

また最近スマホなどの利用により SNS のトラブルが増えています。「子どもとネット」に関する記事がありましたので、紹介します。～ここから～ インターネット授業やオンライン教材で勉強したお子さんも少なくないことでしょう。一方で、つい SNS やゲームをやり過ぎたり、サイトや動画を見過ぎたりしたこともあったのではないのでしょうか。国は学校に1人1台の児童、生徒用コンピューター整備を目指す「GIGAスクール構想」を推進しています。学習利用も含め、ネットとの付き合い方を考え直す必要がありそうです。まず、子どものネット利用の現状はどうなっているのでしょうか。内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」の結果によると、ネット利用率は小学生でも86.3%に上りました。中学生では95.1%に上り、高校生ではと99.1%と、ほとんどを占めます。ネットを利用している機器は、▽スマートフォン（スマホ）が小学生49.8%、中学生75.2%、高校生97.1%▽パソコンが各19.1%、21.0%、27.1%▽タブレットが各41.0%、35.9%、24.0%……などとなっています。子ども専用の機器を持っている割合は、スマホでは80.1%ですが、タブレットでは33.6%と3人に1人に過ぎず、半数近くが保護者との共用です。ネットの利用内容は「勉強・学習・知育アプリやサービス」が41.6%あるものの、やはり「動画視聴」（81.5%）や「ゲーム」（78.7%）、「コミュニケーション」（69.1%）のほうが多くなっています。ネットの平均利用時間は182.3分で、2人に1人は3時間以上利用するヘビーユーザーです。目的別では「勉強・学習・知育」が平均33.3分なのに対して、「趣味・娯楽」は119.5分となっており、やはり現状では楽しみのための利用が主流です。学校の1人1台環境の是非について尋ねたところ、「良いと思う」と答えた保護者が26.2%、「良くないと思う」が9.5%と、好意的な評価が多くなりましたが、「どちらの要素もあると思う」が53.4%を占めており、迷いがあるようです。良い要素としては「学校での発展的な学習が期待される」「タブレット端末に慣れる機会になる」など、悪い要素としては「子供の遊び道具になる」「親の目の届かない所などでのインターネットで繋がる」などが多く挙がりました。

また、この週末は青垣中学校 1 年生女子ソフトテニス部の 1 ペアが明石公園テニスコートで行われました第 24 回兵庫県中学校ソフトテニスのじぎくカップ中央大会に出場しました。

※その他の部活動においても、いよいよ令和 7 年度（2025 年度）シーズンがまもなく始まります。